

「ノーコード(ローコード)システムで 現場の見える化&業務改善」事例講座

アツギ(若手後継者3人)による自社DX化への取り組み

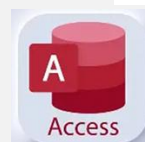
ノーコードやローコードのシステムは、プログラミングの専門知識が少なくても業務システムの開発ができるツールとして広がっています。本講座では、ノーコード(ローコード)システムを活用した「製造現場の見える化&業務改善」に関する若手後継者自らの取り組みをご紹介します。

■開催日程： 2025年 11月12日(水) 13:00 ~ 17:20

■講演内容

- (1) 職人の大量辞職が起きた鉄工所が、デジタル活用で「やりたいを叶える」会社へ
株式会社 乗富鉄工所 代表取締役 乗富 賢蔵 氏
- (2) 「現場を変えるDX教えます」 ~今から始めよう! 自社向けシステム作り~
株式会社 豊前工業所 専務取締役 井上慶一 氏
- (3) 「生産工程の見える化とその他DX技術活用した取り組み」
株式会社 熊谷ゴム工業 部長 熊谷 恒典 氏

kintone



■開催場所： 久留米ビジネスプラザ 1F 会議室C
(住所) 久留米市宮ノ陣4丁目29番11号

■定員： 70名様

■参加料： 無料

■対象者： ノーコード(ローコード)システムで現場改善に取り組もうとされている方

※本講座を現場改善&生産性向上への実践的な取り組み、DX人材育成の第1歩としてご活用ください。

■申し込み： 以下のURL、QRコードからお申込みフォームへお進みください。

<https://forms.gle/NuFEww7vHWNCyhNw9>



■申込締切日： 2025年11月7日(金)

■会場へのアクセス、駐車場



西鉄天神大牟田線 宮の陣駅から徒歩15分

主催：株式会社 久留米ビジネスプラザ(KBP)

(1) **職人の大量辞職が起きた鉄工所が、デジタル活用で「やりたいを叶える」会社へ**
株式会社 乗富鉄工所 代表取締役 乗富 賢蔵 氏

kintone

【会社概要】 福岡県柳川市に本社を置く県内最大規模の水門メーカー。

創業は1948年(昭和23年)。 水利施設事業を中心に、近年ではキャンプ用品なども開発。

【乗富社長様のご経歴】 大学院修了後、造船工場で最先端の生産管理、トヨタ生産方式を学んだ後、2016年、家業を継ぐため乗富鉄工所に入社。2024年に代表取締役に就任。

【会社のDX化に取り組んだ経緯】

2017年、乗富鉄工所では職人の離職が相次いでいました。待遇面の課題もありつつも、ひとりひとりが生き生きと活躍できていないということが問題の本質でした。

「**工程管理の俗人化**」「**大量の紙の書類による非効率**」などさまざまな技術的課題を「**キントーン**」で解決する過程でチームワークが生まれ、新規事業などにも波及していきました。

数年の試行錯誤の末、若者が生き生きと働ける会社として有名となり、現在では若手社員のひとりひとりが特技を生かして活躍する中でキントーン以外でも様々なデジタル活用が進んでいます。

“デジタル活用で「やりたいを叶える」会社へ”



(2) **「現場を変えるDX教えます」～今から始めよう！自社向けシステム作り～**

株式会社 豊前工業所 専務取締役 井上慶一 氏

【会社概要】 1961年(昭和36年)に福岡県豊前市にて創業。職人技と機械技術を融合させたオーダーメイドの鉄製品を提供する老舗鉄工所。

【井上専務様のご経歴】 大学卒業後、大手食品メーカーで勤務の後、2016年に家業を継ぐため、豊前工業所に入社。2022年7月より 自社向けの 業務管理DXの開発に着手。2023年、BZK㈱を立ち上げ、同じ悩みを持つ製造業向けのアプリ開発サポート業務を行っている。

【会社のDX化に取り組んだ経緯】 入社した当時、私が最も困ったことは、お客様から受注した案件に関する製作状況、納期に関する問い合わせに関して、「現場の作業員に進捗確認するため、事務所と工場を右往左往する毎日」であったことです。このような状況から抜け出すため、「生産現場の見える化、生産管理のIT化」に取り組む決心しました。

【現場管理DX】 業務管理DXを開発するにあたって、まず念頭に置いたものが、「**自分が使って、使いやすいものを作る**」、「**現場に合った、徹底的に現場目線の生産管理ツールを作りたい**」ということです。当社で開発した現場管理DXは、iPadを利用しています。製造工程ごとにiPadを配備することで、これまで図面や製造指示書や進捗状況管理表を工程間で回していたのを、**ペーパーレスにすることができ、工場内の資料管理の手間を削減することができました。**

これにより、作業員は余計な資料の管理をする必要がなくなり、**製造に集中することができるようになりました。**このようなコンセプトにそったツールを開発できたため、当社の78歳のベテラン従業員も今やiPadを使いこなしています。

78歳ベテラン従業員もデジタル化”



(3) **「生産工程の見える化とその他DX技術を活用した取り組み」**

株式会社 熊谷ゴム工業 部長 熊谷 恒典 氏

【会社概要】 1993年(平成5年)に福岡県久留米市田主丸で設立。

プレス機と金型を用いて、公共事業用、モーター用、その他様々な分野のゴム製品を多品種・小ロットの生産&加工を行っている。

【熊谷部長様のご経歴】 大学卒業後、大手電力会社に入社、鉄塔設計業務を学んだ。2015年に家業を継ぐため、熊谷ゴム工業に入社した。

【会社のDX化に取り組んだ経緯】 当社の生産工程は、「**受注→材料手配→練り→カット→製造→仕上げ→出荷**」となる。生産計画の作成は、多品種小ロット(2300品番)、成型機35台(一人で4~5台の成型機を担当)、材料のゴムには消費期限がある等を考慮する必要がある。現在、生産計画の作成は**工場長が一人で行っており属人化**している。また、指示・周知徹底に関しては、計画・周知ボード&紙で行っており、指示漏れ等のヒューマンエラーも起きやすく、製造が停止することもある。

【工程の見える化システム】 現状課題を解決するため、「**生産計画の自動化、生産工程の見える化**」に取り組む事にしたが、ITベンダーに見積りを取ると高額なため、Access(及びExcel)を用いた「**自らも開発に参加する身の丈IoT開発**」に取り組んでいる。

“自らも開発に参加する身の丈IoT開発”

